1

2

3

4

1_1 年女子 _1 位池田夏帆（19.08）2 位田中雛（19.27）3 位菊池美桜（19.28）
2_1 年男子 _1 位東士朗（23.32）2 位宮本哀希（23.46）3 位竹田晴輝（24.23）
3_2 年女子 _1 位藤本小迪（17.12）2 位小林琉奈（17.47）3 位川本杏莉（18.11）
4_2 年男子 _1 位内原大希（22.57）2 位久保将輝（23.17）3 位露口将吾（23.45）
（ ）内は記録。1 位 _ 写真中央、2 位 _ 写真右、3 位 _ 写真左（敬称略）

全員で走り抜け！
東温高校マラソン大会

２月４日、東温市総合運動公園で東温高校マラソン大会が開催され、女子４km、男子６km のコースを生徒たちが沿道からの声援を受けながら全員で走り切りました。２年女子で優勝した藤本小迪（こみち）さんは、「すごく緊張しましたが、最後まで走り切ることができてよかったです」と笑顔で話してくれました。

ドローンを防災に役立てよう
拝志小でプログラミング授業

２月８日、拝志小学校４年生が総合的な学習の時間で、災害時におけるプログラミングされたドローンの活用方法を学びました。今回の授業は、市消防本部、愛媛大学教育学部などの協力で実現。子どもたちが持つ「ドローンは空撮の機械」というイメージは、「人の命を救う道具」に変わりました。

Interview

拝志小学校４年生　**武智 木乃香（このか）** さん

災害のとき役立つドローン

プログラミングを組むのは難しかったけれど、思ったようにドローンが動いてくれたので嬉しかったです。学校では、４年生で防災を学びます。家ではお母さんが避難袋を用意していると言っていたので、自分でも中身を見ておきたいです。

Interview

親子で参加した
片上 彩絵（あやえ） さん（志津川）

準備するきっかけに

災害時、トイレでこんなに新聞紙が必要とは知りませんでした。教えてもらった凝固剤を用意したいです。災害に備えて少しずつ準備しているものの、今回のワークショップを通して、子どものおむつやリュックも準備しておかないとなと、改めて考えることができました。

災害発生！子どもをどう守る？
親子で防災ワークショップ

１月 27 日に総合保健福祉センターで開かれた「コロナ禍で今日からできる防災ワークショップ」に親子連れなど 20 人あまりが参加し、災害への備えを学びました。水を使ったトイレの擬似体験では、水を吸収するために新聞紙がどれくらい必要か知りながら、凝固剤の使い方などを学んでいました。

◀10月号広報

◀8月号表紙

東温市初のトリプル受賞
愛媛県市町広報コンクールで特選

毎年開催される愛媛県市町広報コンクールで、広報とうおんが３部門で特選などを受賞しました。広報紙部門では 10 月号、一枚写真部門では８月号表紙が特選を受賞し、組写真部門では 11 月号で掲載した牛渕地区の秋祭りが入選に輝きました。特選作品は全国コンクールに推薦されます。審査員は「新しい生活様式のなかでも楽しめる企画。地元の人たちと本を通して心を通わせられると感じた」と講評しました。

◀11月号広報

日々練習を積み重ねてきた成果を披露

坊っちゃん劇場で東温FESTIVAL

２月14日、坊っちゃん劇場のステージで、東温高校の書道部、コーラス部、吹奏楽部、演劇部、ダンス部、スポーツ健康類型がパフォーマンスを披露しました。川田校長は「思うように練習ができない環境下でも努力を重ねてきた生徒たちの工夫を凝らした舞台をお楽しみください」と呼びかけ、本格的な舞台の上で生徒たちが日頃の練習の成果を存分に発揮していました。

Interview

南吉井小学校
大西 和夢（わむ）くん　菅 光星（こうせい）くん

感謝の心で「いただきます」

楽しかったです。シャベルやスコップのような大きな器具で作っているのを見て驚きました。感謝の気持ちを込めて食べたいです。（光星くん）

調理員さんが手を振ってくれました。給食を残さず食べようと思いました。（和夢くん）

大きな鍋にびっくり！

学校給食センターを見学

南吉井小学校若葉組の皆さんが、学校給食センターの調理場などを見学しました。給食センターでは一日で約3,250食分の給食を作るそうで、自分たちが入れるほどの鍋を見た子どもたちは驚きの表情。同センターは食品ロスにも取り組んでおり、備蓄品の乳児用ミルクを使ったシチューが給食として提供されています。

毎月一度のお楽しみ

中央公民館で親子遊びの広場

２月８日、中央公民館で行われた親子遊びの広場は、多くの親子連れで賑わいました。毎月第２火曜日に行われるイベント（主催：ファミリーサポート・センターとうおん）で、子どもたちはお絵かきやトンネルくぐりをして楽しみました。参加したお母さんは「毎月参加しています。あおぞら広場やこども館で知っているスタッフさんを見て、子どもも安心してはしゃいでいます」と楽しんでいました。

西谷小学校でケールの収穫体験

大きな葉っぱ 美味しく作ってね

２月５日、南方の畑で西谷小学校１、２年生がケールの収穫体験を行いました。㈱遠赤青汁の畑で行われた収穫体験には児童９人が参加。自分の顔よりも大きな葉っぱを収穫した子どもたちは「美味しく作ってね」と給食センター調理員にケールを手渡しました。ケールは８日の給食の材料として使われます。　＊ケールは野菜の王様と呼ばれ、キャベツやブロッコリーの原種です。

東温市民劇団上演

近藤林内の生き方を演劇化

２月13、14の両日、東温アートヴィレッジセンターで「girandole- 近藤林内物語 -」が上演されました。近藤林内は江戸ー明治時代に生きた河之内地区の庄屋で、物語では、彼の生き方や想いを現代風に大胆に表現していました。観劇者は「物語の設定に驚いた。生の舞台ならではの臨場感で、東温市にこのような劇団があることを初めて知った」と驚いていました。

女子バスケ部躍進の立役者

優秀選手に山本柚月さん・森夕奈さん

重信中学校女子バスケットボール部の山本柚月（ゆづき）さんと森夕奈（ゆうな）さんが愛媛県バスケットボール協会が選ぶ、令和２年度優秀選手10人の中に選出されました。昨年同チームは、愛媛県大会ベスト４と躍進しました。山本さんと森さんは「次のステージでも努力を重ねて、上の自分を目指したい」と意気込みました。